

神奈川県立がんセンターで膵癌またはその他の膵疾患で 手術や生検を受けた患者さんへ

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究を行っています。より良い医療の発展のために、多くの患者さんに研究にご協力頂くことが必要です。我々は、上記のような目的で以下の研究を実施しております。このような研究では、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

〔研究課題名〕 新規アミノ酸PETプローブによる早期膵癌画像診断法の開発
～ 膵疾患におけるタンパク発現の探索的研究 ～

〔研究実施期間〕 各研究機関の長の許可日～2026年03月31日

〔研究代表者〕 辻 厚至
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
量子医科学研究所 分子イメージング診断治療研究部

〔共同研究機関の研究責任者〕
佐藤 慎哉
神奈川県立がんセンター臨床研究所
がん分子病態学部形態機能解析室

〔研究の目的〕 膵癌（前癌病変を含む）及びその他膵疾患（良性疾患）の患者さんから得られた病理組織検体（手術の際に切除された組織や生検のために摘出した組織のうち、病理診断のために使用したあまりの検体）を用いて、膵癌及びその他膵疾患におけるタンパク発現程度などの探索的検討を行います。

〔研究の方法〕

●研究対象

2010年1月1日から2022年12月1日までに神奈川県立がんセンターにて、膵癌（前癌病変を含む）及びその他の膵疾患（良性疾患）により手術や生検のために組織検体を摘出した患者さん

●利用する試料・情報及び利用方法

膵癌（前癌病変を含む）及びその他の膵疾患（良性疾患）の患者さんより得られた病理組織検体から標本を作製し、病理所見と合わせて病態とタンパクとの関連を調べます。

神奈川県立がんセンター臨床研究所で、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないように加工し、量子科学技術研究開発機構へ郵送し標本の解析を行います。

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報保護法及び各研究機関の個人情報保護に関する規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。研究成果は、誰の情報であるかがわからない状態で発表します。個人名などが表に出ることはありません。

この研究にご自分の試料・情報を使ってほしくない方（または代理の方）は2023年5月31日までに下記【問い合わせ先：窓口】までご連絡ください。解析の対象から除外いたします。標本は上記期限を過ぎた後に他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないようにします。上記期限を過ぎた後も、いつでもお申し出いただけますが、解析に使用して個人情報と切り離されてしまった試料・情報は取り除けないことがあります。その場合も個人情報が出ることはありません。

またご自分の試料・情報の使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

〔問い合わせ先：窓口〕

●千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

量子医科学研究所 分子イメージング診断治療研究部

辻 厚至 電話：043-382-3704（平日 9:00～17:00）

●神奈川県横浜市旭区中尾2-3-2

神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん分子病態学部・形態機能解析室

生体試料センター

佐藤慎哉 電話：045-520-2222（平日 9:00～17:00）